

【“勝たせる AI”で企業価値を創造する株式会社 2WINS】**＜セッションレポート＞****東大 松尾研究スタートアップ「2WINS」代表小川、
国内最大級のソフトウェアテスト技術カンファレンス「JaSST'26 Tokyo」にゲスト登壇
—「ポルトウウィン」と AI 駆動開発時代の QA をテーマにセッションを講演—**

東京大学発の AI スタートアップ企業である株式会社 2WINS（本社：東京都文京区、代表取締役 CEO：小川 椋徹、以下「2WINS」）の代表取締役 CEO 小川 椋徹は、2026 年 3 月 20 日（金）に東京ビッグサイトで開催されたソフトウェアテスト分野の国内最大級の技術カンファレンス「ソフトウェアテストシンポジウム 2026 東京（JaSST'26 Tokyo）」において、サービス・ライフサイクルの課題解決を支援するポルトウウィン株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役 CEO：志村 和昭、以下「ポルトウウィン」）のテクノロジーセッションにゲスト登壇しました。

**AI 駆動開発時代における QA の役割を探るセッション**

『AIDD（AI 駆動開発）・SDD 時代の QA 対応—QA は何を品質として観測するのか—』ポルトウウィン 先端技術研究室 室長の久保雅之氏、ポルトウウィン 技術推進室の後藤香織氏、そして 2WINS 代表取締役 CEO の小川 椋徹が登壇し、「AIDD（AI-Driven Development：AI 駆動開発）・SDD（Spec Driven Development：仕様駆動開発）時代の変化の只中にある QA 対応を現場の視点から議論が展開されました。当日、オンラインとオフラインのハイブリット型で開催し、数十人の参加者が視聴しました。

本セッションでは、「AI が設計およびテスト工程を担う時代において、『品質が保証されている』とは何を意味するのか。』を主要テーマにディスカッションしました。ポルトウウィン 技術推進室の後藤氏は、AI の普及に伴い従来の品質保証の前提が再考を迫られている点を指摘し、「品質が保証されている状態」の再定義の必要性を提起しました。これに対し、ポルトウウィン先端技術研究室の久保氏は、AI、特に大規模言語モデル（LLM）の特性について説明しました。「LLM は確率分布に基づき出力を生成する

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社 2WINS 広報担当：水野（ミズノ）

Email: pr@2wins.ai TEL: 090-9941-0515

ため、常に正しい結果を保証するものではなく、コード生成やテスト設計においても一定の誤りが含まれます。この特性により、AI 活用下における品質は決定論的に担保されるものではなく、『確率的な揺らぎ』を前提とした管理が必要となる。こうした“確率的な揺らぎ”をどのように扱うかが、QA にとって新たな論点となっている。」と指摘します。

さらに久保氏は、従来のソフトウェア開発が前提としてきた「正しく設計・実装・テストすれば品質が担保される。」という決定論的な考え方が、AI が開発プロセスに組み込まれることで成立しにくくなっている点を指摘しました。これに伴い、品質評価の基準は「正しさ」から「正しさの確率」へと移行しつつあり、品質保証の領域は「工学というよりも統計的なアプローチの重要性が高まっている。」としました。

2WINS 代表取締役 CEO の小川は、AI の限界は、上流工程に現れる AI の進化を前提としながらも、その限界について言及しました。小川は、AI コード生成やテスト自動化などの下流工程においては高い効果が見られる一方で、システム全体を俯瞰した設計や文脈理解、特に非機能要件、環境依存性、ビジネスロジックの妥当性といった領域では依然として課題が残ると指摘しました。このため、AI の適用範囲を見極めた上で、人が関与すべき領域を適切に設計する必要があるとしました。これらの議論から、AI は下流工程に強く、上流工程には制約があるという構造を共有しました。

また、品質のエビデンスに関する議論では、従来指標とされてきたテストケース数やカバレッジに加え、仕様管理の重要性が指摘しました。AI による開発速度が向上する一方で、仕様の意図や背景の追跡が困難になるケースが増加しています。これを踏まえ、久保氏は、品質の一貫性を担保するためには、仕様自体の精度向上と管理体制の強化が不可欠であると整理されました。加えて、AI が理解可能なスペックと、人間が理解するための仕様書の双方を整備し、継続的に同期させる必要性が示されました。

さらに、AI の普及に伴い QA エンジニアの役割も変化している点が議論されました。従来の検証中心の役割から、上流工程における品質設計や意思決定への関与が求められています。久保は「AI が実装およびテスト工程の多くを担うことで、人間はより上流工程で品質を担保する設計に関与すべきだと述べます。また小川も、人間は創造性や判断といった領域により集中していくことになる」とし、「人間は人間らしい部分にフォーカスしていく。」と語ります。

本セッションを通じて、AI 時代における品質保証は、「正しさ」から「確率」へ、「結果」から「プロセス」へと評価軸が変化していることが示されました。また、QA の役割は検証にとどまらず、上流工程における設計および意思決定を担う方向へと拡張しています。

以上のように、AI を前提とした開発環境においては、品質保証の概念および実務の双方で再定義が進んでおり、その変化はすでに実務現場において顕在化しています。

【JaSST'26 Tokyo セッションレポート 01】AIDD・SDD 時代の QA 対応—QA は何を品質として観測するのか—

https://note.com/ptw_note/n/n60289aba6807

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社 2WINS 広報担当：水野（ミズノ）

Email: pr@2wins.ai TEL: 090-9941-0515



プロフィール

小川 椋徹 (おがわ りょうと)



株式会社 2WINS 代表取締役 CEO。

東京大学大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 (修士卒)。

東大発スタートアップの 2WINS を創業。東京大学大学院やインド工科大学等の出身研究者を中心として、国内最先端の言語系 AI・画像系 AI を強みに、パートナー企業の経営課題に深く踏み込む本質的なソリューションを提供する。

久保 雅之 (くぼ まさゆき) 氏



ポールトゥウィンホールディングス株式会社

Vice President of AI Strategy (VPoAIS) 、

先端技術研究室 室長。

早稲田大学大学院修了 修士 (国際経営学)。富士通、NTT データ、ヤフー、マイクロソフトを経て起業。複数の企業で戦略部門を歴任したのち、2023 年よりポールトゥウィン株式会社に参加。現在は全社の AI 戦略および新規事業企画を担当。

後藤香織 (ごとうかおり) 氏



ポールトゥウィンホールディングス株式会社

QA ソリューション事業部 事業推進グループ グループマネージャー 兼 コーポレート戦略本部 技術推進室 室長

エンタープライズシステム開発を経て第三者検証会社で品質保証業務に従事し、Web から航空宇宙まで 100 社以上の業務改善を支援。テスト自動化や Web 業界向けテストサービスの立ち上げも経験。前職では東南アジア初 ISTQB「Global Partner」認定企業で事業責任者を務め、質とコストを両立するサービスを展開。JSTQB 公認インストラクターとしても活動

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 2WINS 広報担当：水野 (ミズノ)

Email: pr@2wins.ai TEL: 090-9941-0515

し、現在はポールトゥウィンでテスト自動化事業の拡大を推進している。

ソフトウェアテストシンポジウム 2026 東京 (JaSST'26 Tokyo) について

ソフトウェアテストシンポジウム (JaSST) は、NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER) が主催する、ソフトウェアテストおよび品質保証分野の国内有数の技術カンファレンスです。JaSST'26 Tokyo は 2026 年 3 月 20 日に東京ビッグサイトで開催され、ソフトウェア品質やテスト技術に関する最新の知見や実践事例が共有されます。

■カンファレンス概要

名称：ソフトウェアテストシンポジウム 2026 東京 (JaSST'26 Tokyo)

主催：NPO 法人 ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)

会場：東京ビッグサイト 会議棟 ※一部オンライン配信あり

開催日：2026 年 3 月 20 日 (金)

イベント詳細：<https://jasst.jp/tokyo/26-about/>

ポールトゥウィン株式会社について <https://www.ptw.inc/>

ポールトゥウィン株式会社は、ゲームデバッグ・ソフトウェアテスト・ネットサポート事業など、IT サービス主な事業とする会社です。1994 年にゲームデバッグ事業を立ち上げ、創業 5 年で 800%の成長率を達成。以来、ゲームデバッグ事業においてパイオニア的存在として歩み続けています。

また、2022 年 2 月にはグループ会社を吸収合併。E コマース不正対策やカスタマーサポートを通じて多様な Web サービスを支えてきた「ピットクルー」、ソフトウェアテストや品質コンサルティングによる不具合解消に貢献してきた「クアーズ」と共に、新たなスタートを切りました。ゲーム業界、EC 業界を中心として様々なお客様の課題解決に取り組んでまいりました。それらで培った知識とノウハウ、多様な人材を活かして世の中のサービスやプロダクトの品質および価値向上に取り組んでまいります。

【 会社概要 】

社名：ポールトゥウィン株式会社 (Pole To Win, Inc.)

本社所在地：愛知県名古屋市千種区今池 1-5-9

代表取締役 CEO：志村 和昭

事業内容：デバッグ・ネットサポート・ソフトウェアテスト

設立：1994 年 1 月 20 日

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 2WINS 広報担当：水野 (ミズノ)

Email: pr@2wins.ai TEL: 090-9941-0515

株式会社 2WINS について <https://www.2wins.ai/>

2WINS は、東京大学が位置する本郷を拠点とする東大発 AI スタートアップです。東京大学大学院やインド工科大学等の出身研究者を中心として、国内最先端の言語系 AI・画像系 AI を強みに、パートナー企業の経営課題に深く踏み込む本質的なソリューションを提供します。単なる AI ベンダーではなく、課題設定から要件定義、PoC、研究開発・実装、運用まで一気通貫で伴走するパートナーとして、企業の成長を加速させます。最先端の AI 技術と問題解決力を掛け合わせ、"勝たせる AI"を企業の競争力へ。2WINS は、アカデミアとビジネスの架け橋として、AI の社会実装をリードします。2025 年 3 月、東京大学「松尾研発スタートアップ®」に認定。

設立：2022 年 2 月 17 日

所在地：東京都文京区本郷 2-36-2 TM 畑中ビル 3F・4F

代表者：代表取締役 CEO 小川 椋徹

事業内容：AI ソリューション事業

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 2WINS 広報担当：水野（ミズノ）

Email: pr@2wins.ai TEL: 090-9941-0515